琉球リースだより

新風

mi-kaji
【みーかじ】

いろんなところでリース

簡単解説
パッパッとわかるリースの話

社員のエッセイ
どぅーちゅいむにー

2025
第31号

新風【みーかじ】
2025
第31号
編集／発行：株式会社琉球リース　企画・制作：株式会社アドスタッフ博報堂

乗ってトクして、地球にもいいこと

リース&シェアサービス
Lease & Share Service

リース&シェアサービスって？

貴社がリースで導入した車両を、貴社の従業員が業務及び私用（通勤・休日の使用）でも使うことができる新しいカーシェアリングサービスです。

貴社のメリット

リース料の実質負担減
（従業員より共同使用料を収受）

共同使用する従業員への
通勤手当の停止

従業員のメリット

マイカー購入に比べ
取得費用、維持コストを大幅に軽減！

通勤時の駐車場確保が不要！
現在の貴社駐車場でOK！

詳しくは、当社の営業担当者、または営業統括部までお問い合わせください。

株式会社 琉球リース ｜ 琉球銀行グループ
BANK OF THE RYUKYUS GROUP

https://www.rlease.co.jp/

【本　　社】〒900-8550 沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号 琉球リース総合ビル10階　TEL.098-866-5500 FAX.098-863-0381
【営業第三部】〒904-0004 沖縄県沖縄市中央1丁目1番10号 琉球銀行コザ支店共同ビル6階　TEL.098-939-4880 FAX.098-939-4882

新春のお慶びを申し上げます

代表取締役会長　普久原 啓之

新年おめでとうございます。

皆様には、輝かしい新年をお迎えのことお慶び申し上げます。

昨年の沖縄経済は人手不足による供給制約の課題は依然残ったものの戻ってきた国内外の観光客需要に支えられ、観光産業、ひいては建築関連、個人消費等順調に推移しました。

今年は更に北部のテーマパークもいよいよ現実味を帯びてきて益々、観光産業を中心に沖縄経済は活気づくものと思われます。

そういった好材料をしっかりとお取引様と一緒に享受できるよう今年も社員一丸となって社業に取り組んでまいりますので何卒ご用命をいただければ幸いです。

末尾になりますが、貴社の益々のご隆盛と社員の皆様のご多幸をお祈り申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

代表取締役社長　古堅 雄二

明けましておめでとうございます。旧年中は格別のお引立てを賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は年初より能登半島地震による災害、日銀マイナス金利解除、運輸・建設・医療分野の2024年問題など経済環境は困難を極めた一方で、日経平均株価の史上最高値やオリンピックメダルの最多獲得、20年ぶりの新紙幣発行、110年ぶりの大相撲新入幕で初優勝、MLB大谷選手の大記録達成など明るい話題も多い1年でもありました。

弊社においても37年稼働した基幹システムの移行を無事に終えることができ、さらなる成長で、迅速なソリューション提供や様々なニーズ対応に積極的に取り組んでまいります。本年も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

末尾となりますが、貴社の益々のご発展と社員の皆様のご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

年賀状に代わり本誌にて新年のご挨拶とさせていただきます。

いろんなところで リース 第31回

リースの対象物件といえば、小さなものはOA機器・パソコンから、大きなものは船舶・航空機に至るまで、広い分野にわたって、お客様のニーズに応えています。

そこで、このコーナーでは、当社が選定したリース物件にスポットを当てて紹介します。

発想次第で 無限の可能性が拡がる 3Dプリンター

3Dプリンターは3DCADの設計データをもとに、スライスされた2次元の層を1枚ずつ積み重ねることによって立体モデルを製作する機械です。薄い層を積み上げる積層方式や液体の樹脂を紫外線で少しずつ硬化させる光造形方式、熱で溶かした樹脂を積み重ねるFDM方式など、様々な方式のプリンターがあります。またそのサイズも、プラスチックや金属製の小さなネジから家などの建築物まで、3Dプリンターの性能アップと素材の進歩により、活用範囲は拡がりを見せています。

今回導入した企業も、3Dプリンターなら金型が不要で小ロット、短期間、低コストで製作することができ、顧客からの特注部品依頼が増加したといいます。医療機器や自動車部品など、精密な部品を必要する業界への進出が期待される3Dプリンター。どう活用するかは、発想力次第と期待されています。

商品開発時の立体模型づくり、工業製品の試作品、建設・建築模型、一品ものの特注品。さらには少量生産品、交換部品などの最終製品をダイレクトに3Dプリンターで製造することも可能です。ものづくりの各工程において、3Dプリンターが活躍する領域やできることはますます拡がり、今後、ものづくりを支える重要な役割を担っています。

トレンド調査隊 14

今、話題の街のトレンドを紹介！

2025-26 沖縄の展望

2024年8月に南城市にオープンした大型商業施設をはじめ、てだこ浦西駅周辺地区複合施設整備事業や西普天間住宅地区への国立大学病院移転、北部地区の大型テーマパークの開園など、数多くのビッグプロジェクトが進行中の沖縄。新しい施設や街の再開発が沖縄経済活性化の起爆剤となることに、多くの人々の期待と感心が集まっています。

南城市にオープンした大型商業施設

2024年の一番の話題は、なんといっても南城市の大型商業施設のオープンでした。約5万9000㎡の敷地面積に、800台以上の駐車場を敷設し、1日3000～6000人の来客を見込んでいるといいます。地域の雇用を支えるという意味でも、大型商業施設が南城市に出店した効果は大きく、300人あまりの雇用が生まれ、うち50%以上が正社員として採用されているそうです。

オープン初日には開店時刻の24時間以上前から人が集まり、5時間待ちの大行列を作る異例の事態となりました。2020年代後半に開通予定の南部東道路が完成すれば、交通網はさらに整備され、地域経済を支える大きな存在になると期待されています。

てだこ浦西駅周辺地区複合施設整備事業

沖縄で初めて駅前という形で開発を進めているのが「てだこ浦西駅周辺地区」です。隣接する沖縄都市モノレールてだこ浦西駅やパークアンドライド駐車場、沖縄自動車道インターチェンジの整備により、交通結節点としての機能の形成を活かし、浦添市の東の玄関口及び、沖縄本島中北部地域の玄関口にふさわしい地域活性化の拠点として、魅力あふれるまちづくりを目指し開発が進んでいます。

国立大学病院 西普天間キャンパスへ移転

2015年3月に返還されたキャンプ瑞慶覧の一部である「西普天間住宅地区」で進められていた国立大学病院の西普天間キャンパス建築工事が完成し、2025年1月に移転・開院が決まりました。

西普天間住宅地区は「沖縄健康医療拠点を核とした都市機能と水・みどり・文化の調和した住環境がつながるまち」をコンセプトとして、土地区画整理事業によるまちづくりが進められています。

大学病院を囲むように新たに開通する西普天間線沿いは、商業施設や健康施設が並ぶ賑わいのある街並みを計画中。さらにその周辺には新たな住宅エリアが広がり、ここにもまた新しい街が誕生する予定です。

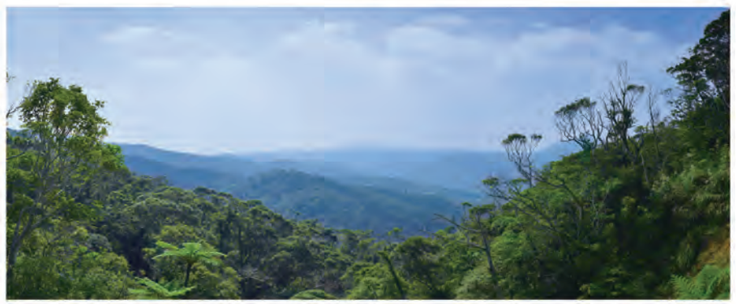
北部地区に開園する大型テーマパーク

北部地区の大型テーマパークの企画、開発および運営を目的として2018年6月に設立。「沖縄から日本の未来をつくる」をミッションとして、沖縄から日本の観光産業を変革すべく、沖縄北部地域経済への貢献、沖縄県観光産業への貢献、観光立国日本経済への貢献を目指しています。真の地域活性化を図り、経済力の向上に寄与することが、その土地での社会課題解決に繋がると確信し、開業に向けて取り組んでいるといいます。

沖縄本島は観光の重心が那覇市など県の南部に偏っているのが現状です。水族館の他にも魅力あるスポットが北部にできれば、北部での滞在時間が増え、沖縄全体として観光客の増加が期待できます。さらには、名護東道路の延伸、クルーズ船やヨットの寄港地整備構想も持ち上がるなど、より魅力あふれる観光地への期待もふくらんでいます。

これらのプロジェクトが沖縄経済の活性化に繋がることは間違いありません。日本はもとより、世界中から注目されるであろう沖縄の2025年に、期待したいと思います。

周辺エリアの再開発も併せ、これからが楽しみな地域と期待も高まっています。



簡単解説
3分で パッパッ とわかるリースの話

第31回

アカバナー商事
須場（すば）社長

このコーナーでは、リースに関するホットな話題、
お役立ち情報などをできるだけ簡潔にお伝えします。

琉球リース
早来（そうき）係長

「一般物件の再リース自動更新」について

おう！そうなんだね。

また、一般物件の再リース申込み手続きが変更となるのでご説明してもよろしいですか？

ありがとう。
是非教えてくれ。

まず弊社からリース期間満了3か月前までに「リース満了に伴う契約手続きのお知らせ」を通知させていただきます。

お客様がそのリース期間が満了するリース（以下原契約という）または再リース契約の終了を希望するときは、リース期間満了2か月前までに「リース契約終了通知書」により申し出ていただきます。

リース契約を終了したいときは終了通知書を提出すればいいんだね。
再リースを希望する場合はどうすればいいんだい？

須場社長、あけましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしくおねがいします。

あけましておめでとう。
こちらこそ今年もよろしくね！

昨年はパリオリンピックやMLB大谷選手の活躍など明るい話題が多かったですね。

そうだね〜。
私も大谷選手の試合は朝から仕事そっちのけでテレビ観戦していたよ。

私も仕事の合間にこっそりテレビ観戦して応援しましたよ。
その甲斐もあってWS優勝しましたね♪

君のおかげではないと思うよ。（笑）
20年ぶりに新紙幣も発行されたし、時代の移り変わりは早いな〜。

そうですね。
実は、琉球リースでも2024年10月から基幹システムが新しいシステムとなりました。

終了通知書の申し出がなかった場合には、「満了通知」記載の条件により再リース契約を締結したものとみなしますので特に何も提出する必要はありません。

こちらが何も手続きしなければ自動で再リースが更新されるということだね。

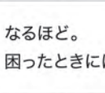
さすが社長！理解が早いですね！

いやいや、それほどでも・・・照
でも、再リースが自動更新されることによって私たちに何か影響はないのかい？

社長、それはご安心ください。
再リース料金は原契約の月額リース料金よりも安くなりますので不利益を被ることはありません。

それはよかった。
忘れっぽいから終了通知書を出し忘れることもありそうだな。

大丈夫ですよ！
満了日の1か月前に「再リース契約手続き完了通知書」をご郵送させていただきますので、その通知書が届いた際に契約終了を希望される場合は更新前に弊社へご連絡ください。



なるほど。
困ったときにはすぐ早来君に連絡するよ！

はい！私に任せてください！

他にも何か注意することはあるかい？

今説明した再リースの自動更新については、2025年4月1日以後に満了する一般リースのみの取扱いとなります。
オートリースについては現行通りの運用となりますのでよろしくお願いいたします。

対象案件があるお客様には、
10月頃にご案内を送付しております。（注①）

色々教えてくれてありがとう。

いえいえ。
ちなみに私は入社してから体重が毎年更新されています！（笑）
社長も健康には十分気をつけてください。

おいおい。
人の心配より自分のことからだよ。

（注①）当社のリース満了に伴う契約手続き変更のお知らせについては当社ホームページにも掲載しております。
https://www.rlease.co.jp/info/news/4332

※本コーナーは、分かりやすさを第一に誌面を構成しているため、厳密には正確でない記述が含まれている場合があります。ご了承ください。

受入向出者紹介

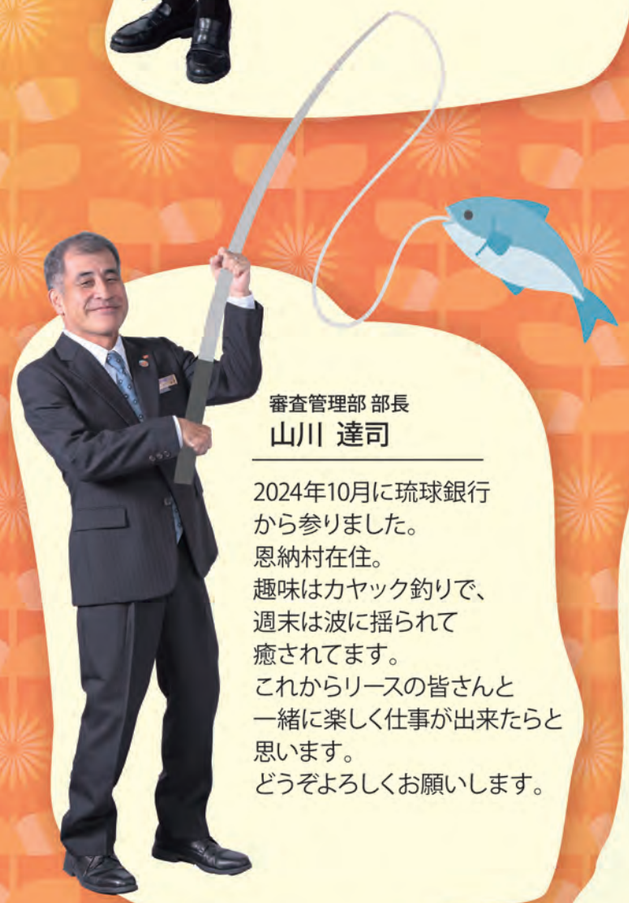
各部署に3名の受入出向者が配属されました！

これからお世話になります！
何卒よろしくお願いします！

がんばります！！

営業第一部
平良 海李

10月より琉球銀行から
出向で参りました、
平良海李と申します。
長所：裏表がないこと
特技：オセロ
琉球リースの一員として、
企業の明日、いや明後日まで
共に考えていけるよう
一生懸命頑張ります。
よろしくお願いします！



審査管理部 部長
山川 達司

2024年10月に琉球銀行
から参りました。
恩納村在住。
趣味はカヤック釣りで、
週末は波に揺られて
癒されてます。
これからリースの皆さんと
一緒に楽しく仕事が出来たらと
思います。
どうぞよろしくお願いします。

営業第二部
立津 友梨香

10月より琉球銀行から
出向で参りました。
旅行と美味しいお店巡りが
最近の趣味です！
新しい環境で日々勉強し、
楽しみながらお客様ファーストで
精一杯頑張りますので
宜しくお願いします！！

【沖縄のクリエイター】

「紅型を日々の暮らしに」をテーマに、紅型をモチーフにした商品を製作する「紅琉 Binryu」の下地秀樹さん・ナホさん夫妻。「紅型の魅力は華やかさ。それを大切にしながら生活に馴染むように、普段使いできるようなデザインを心がけています。もちろん沖縄の気候風土を意識した、リゾート感や大らかさも大切にしたい」とその魅力を語ります。今後は、紅型に合わせる生地としてリネンやデニムの商品も。藍染めや草木染めにも挑戦し始め、庭で藍を栽培する準備も進めています。「量産は難しいですが、伝統文化の継承、職人の育成に繋げていければ」と下地さん夫妻は考えています。

作者紹介 アラヤプランニング株式会社
下地 秀樹
下地 ナホ

Profile

下地秀樹さん・1973年豊見城市生まれ。妻のナホさん・1974年浦添市生まれ。共に県内広告代理店等会社勤めの後、京友禅の工房へ夫妻で入社。京友禅を現代風にアレンジし商品開発する自由さに触発され、2006年「紅琉」を設立。沖縄の紅型をモチーフにしたペット用の首輪から始まり、雑貨や器、紅型壁紙等のインテリアを中心とした紅型テキスタイルを企画・デザイン・販売。自社店舗をはじめ、県内のリゾートホテル、県外の美術館や百貨店などでも販売。国内や海外の見本市にも多数出展し高い評価を得ています。

紅琉 Binryu
宜野湾市大謝名3-12-25
☎ 098-961-4705
営業時間：11:00～17:00　休業日：木・日曜日
https://binryu.com

今回の表紙について

革などを中心に天然素材との組み合わせやハンドメイドにこだわり、紅型らしい華やかさと、おおらかでリゾート感のあるデザインが特徴。色数を少なくしデザイン性をアップした商品作りを心がけています。ファッション、インテリア、食器、本革アイテムアクセサリー、紅型壁紙などのほか、客室装飾、店舗デザイン、ブースデザイン、OEM製作まで幅広く展開しています。

製作作品

社員のエッセイ

どうーちゅいむにー

知らないことを学ぶ楽しさを感じています

モビリティ推進部　係長　川内　楓

平成20年に中途採用枠で入社しました。リース関係の仕事は未経験でしたので、一から学びながらのスタートでした。入社して特に印象的だったのは、社員の皆さんの優しさです。会社全体が和気あいあいとしていて、社員の仲が良いのがよく分かり、入社してよかったと心から感じていました。

最初に配属された企画総務部では給与や税金、社会保険などを担当させていただきました。毎年のように制度が変わるので勉強することが多く大変でしたが、上司や先輩をはじめ、皆が助けてくれて、ここまでなんとかやってこれました。本当に人に恵まれた職場だと、強く感じています。

総務部（当時）で11年、その後車両推進部（当時）で2年、産休・育休を1年取得して企画総務部に戻り3年。そして2024年7月からモビリティ推進部に異動となり、初めてお客さまと直接関わる仕事を担当しています。上司や後輩が熱心に教えてくれるので、働き方をマネしながら、少しでも早く役立てるよう、一生懸命学んでいます。レンタカー会社の他に車に関する保険やメンテナンス関係の調整や対応などを担当させていただいてます。クルマの知識がなく、一から勉強していますが、クルマのことを学ぶおもしろさを感じています。

常に心がけているのは、ミスをしないように、丁寧に速く仕事をこなせるようになること。最初の部署が総務部（当時）でしたので、特にそう思うようになりました。今はお客さまのいろいろな状況やニーズにうまく対応し、提案できるようになりたいです。また、部署に関係なく円滑にコミュニケーションが取れるような職場環境にしたいと考えています。営業の仕事も経験し、総務の仕事も経験してきたので、全体を見据えた行動、調整ができる人材になれたらと考えています。

会社では、昨年度から新たな試みとして、人材育成の一環である「メンター制度」を導入しました。メンター制度とは、他部署の先輩社員が新人や若手社員の【メンタルケア】【キャリア開発】【日々の問題解決】【目標達成】を目的に定期的にメンタリング（面談）を行う機会のことを指します。話す内容は人それぞれですが、1年間実践してみて、他部署の人とのコミュニケーションの強化に繋がったと感じています。

今後の目標としては、いろんな部署を一通り全部経験したいです。知らないことを学ぶことがとても楽しいです。定年まで前向きに頑張ります。

沖縄今昔物語

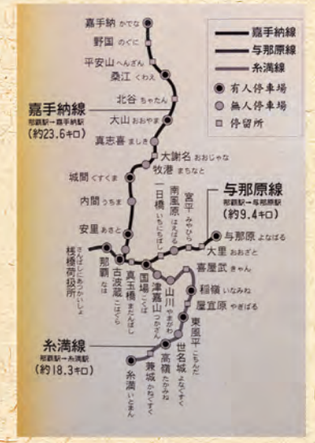
ノスタルジックストーリー

あんやたん！沖縄の過去

大正時代、沖縄の産業振興の要となった軽便鉄道

一回り小さな軽便鉄道の機関車　　提供：那覇市歴史博物館

今から100年以上前の大正時代、沖縄に鉄道が走っていたことをご存じでしょうか。「ケイビン（ケービン）」という愛称で親しまれた軽便鉄道「沖縄県営鉄道」は1914（大正3）年、商業中心地にあった那覇駅と東海岸の港町であった与那原駅を結ぶ与那原線の開通が始まりでした。1922年に那覇から北上する嘉手納線が、1923年に那覇から南下する糸満線が開通。1945（昭和20）年に沖縄戦で消失するまで約30年もの間、軽便鉄道は沖縄本島広域の要所を結ぶ産業振興の要となりました。



沖縄県営鉄道の路線図

「軽便鉄道」とは明治維新以降、急速に近代化が推し進められた日本で、地方のインフラ整備を促すための「軽便鉄道法」にもとづいて敷設された鉄道のことです。国有鉄道よりも規定が緩く、鉄道の規模も小さかったため、自治体や企業による小資本での建設や運営が可能でした。

当時の沖縄の基幹作物であったサトウキビや、本島北部から切り出され、船で与那原港に運ばれた木材の陸上輸送だけでなく、沿線の多くの学生や商人もこの鉄道を利用したといいます。

昭和6年頃の与那原駅　　提供：与那原町

那覇市や浦添市などに鉄道跡などの史跡が残されていますが、与那原線の終着駅でもあった与那原町には、かつての軽便鉄道与那原駅舎を復元した建物があります。コンクリート造りだった与那原駅舎は激しい戦火にも耐え、その後の復興の中で補修を重ね、消防署・町役場・農協として活用されてきました。そして、軽便鉄道の開通100周年にあたる2014年、駅舎を復元した建物が完成。2015年1月に「与那原町立軽便与那原駅舎展示資料館」として改めてオープンしました。

与那原町立 軽便与那原駅舎展示資料館　　与那原町字与那原3148-1

駅舎内は展示資料館として、軽便鉄道や与那原駅の歴史を、写真パネルや展示物などで見ることができます。また「沖縄県鉄道与那原駅跡」として国の登録記念物（遺跡関係）に認められている貴重な場所となっています。